

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 12 日 (2007.4.12)

【公開番号】特開 2005-308369 (P2005-308369A)
 【公開日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-043
 【出願番号】特願 2004-129760 (P2004-129760)
 【国際特許分類】

F 2 5 D 19/00 (2006.01)

B 6 4 D 11/04 (2006.01)

F 1 6 F 15/04 (2006.01)

F 1 6 F 15/08 (2006.01)

【F I】

F 2 5 D 19/00 5 4 0 D

B 6 4 D 11/04

F 1 6 F 15/04 A

F 1 6 F 15/08 E

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 0】

図 2 に示すように、エアチラーの冷凍サイクルユニットは、モータにより駆動されるコンプレッサ装置 2 0 を備え、冷媒を圧縮してコンデンサ 3 0 側へ送り出す。コンデンサ 3 0 は、熱交換器 3 0 0 を有し、気相の冷媒を液相冷媒に交換する。液相の冷媒は、熱交換器に隣接してレシーバドライヤ 3 1 0 内に貯溜される。レシーバドライヤ 3 1 0 の液相冷媒は、配管を介して筐体 1 0 の壁で区画された空気冷却室内の蒸発機（エバポレータ）4 0 に送られる。液相冷媒は、エバポレータ 4 0 に付設された膨張弁 4 1 0 を通って蒸発機の熱交換器 4 0 0 へ送られる。冷媒は、熱交換器 4 0 0 内で蒸発し、熱交換器 4 0 0 を通過する空気を冷却する。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 5】

図 4 に示すように、区画部材 1 1 0 にはブロワ装置用の丸穴 1 4 2 が設けられる。また、空気冷却室の底面には、エバポレータに結露する水滴を受けるドレンパン 1 5 0 が取付けられる。このドレンパン 1 5 0 には、ドレンバルブ 1 6 0 が設けられる。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】図面
 【補正対象項目名】図 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 図 4 】

